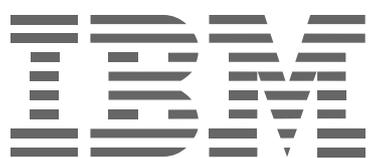


Color Monitor

The IBM logo is rendered in its classic eight-stripe, horizontal-bar style, appearing in a bold, black font.

P97

取扱説明書

Japanese

電波障害自主規制届出装置の記述

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

高調波自主規制届出装置の記述

この装置は、「高調波ガイドライン適合品」です。

JP

このマニュアルは、製品の改良その他により適宜改訂されます。

© Copyright International Business Machines Corporation 2001. All rights reserved.
Translation: © Copyright IBM Japan 2001.

International Business Machines Corporation
New Orchard Road, Armonk, NY 10504

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書には、本製品を安全に正しくお使いいただくために安全表示が記述されています。
この取扱説明書を保管して、必要に応じて参照してください。

絵表示について

この取扱説明書および製品への安全表示については、製品を正しくお使いいただいて、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、次の絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

 危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある危険が存在する内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が重傷を負う可能性が想定される内容または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

危険／注意ラベルの表示について

この製品の外部または内部に黄色地に黒文字で表示されているラベルがある場合は、安全上に関しての、危険または注意ラベルです。必ず表示の指示に従ってください。

この取扱説明書に記述されている以外に、危険または注意ラベルによる表示がある場合は（たとえば製品上）、必ずそのラベルの表示による指示に従ってください。

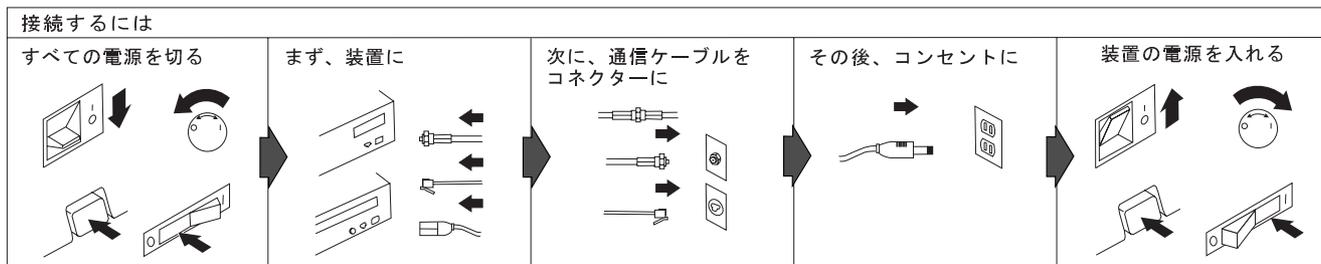
危険

- 本製品のカバーは開けないでください。内部には高電圧部分があり危険です。
- 本製品を改造しないでください。火災、感電のおそれがあります。
- ディスプレイスタンドを外さないでください。
- 電源スイッチやその他の制御部分をぬらさないでください。湿気があるとこれらの部品は壊れることがあり、電気による危険を招くことがあります。
- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重い物を載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたりすると電源コードを破損し、火災、感電のおそれがあります。
- 万一、発熱していたり、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電のおそれがあります。すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから必ず抜いて、販売店またはIBMサービスセンターにご連絡ください。
- 万一、異物（金属片、水、液体）が機器の内部に入った場合は、すぐにその機器の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから必ず抜いて、販売店またはIBMサービスセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電のおそれがあります。
- 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。タコ足配線をしないでください。火災、感電のおそれがあります。
- 付属の電源コードまたは接地端子付き電源プラグ以外は使用しないでください。また、付属の電源コードまたは接地端子付き電源プラグを他の機器には使用しないでください。火災、感電のおそれがあります。
- 3ピン電源プラグが設置場所の接地端子付きコンセントに合う場合は、付属の接地端子付き電源プラグは使用しないで、3ピン電源プラグをそのままコンセントに差し込んでください。接地端子付き電源プラグは廃棄してください。3ピン電源プラグが設置場所コンセントに合わない場合は、付属の接地端子付き電源プラグをお使いください。緑色の線はアース用です。端子の絶縁物を外して専門の電気技術者によって施工されたアース端子に接続してください。ガス管への接続および、コンセントへの差し込みはたいへん危険ですので**絶対にしないでください**。アース線をアース端子に接続することにより、安全にご使用いただけます。
- ケーブル類の取り付け、取り外し順序
電源コード、電話ケーブル、通信ケーブルからの電流は身体に危険を及ぼします。設置、移動、または製品のカバーを開けたり装置を接続したりするときには、下記のようにケーブルの接続、取り外しを行ってください。

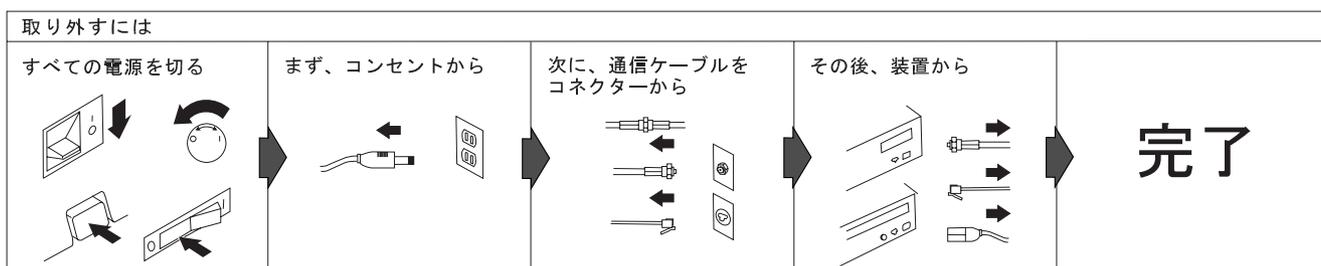
⚠ 危険

- ケーブル類の取り付け、取り外し順序

電源コード、電話ケーブル、通信ケーブルからの電流は身体に危険を及ぼします。設置、移動、または製品のカバーを開けたり装置を接続したりするときには、以下のようにケーブルの接続、取り外しを行ってください。



電話ケーブル、通信ケーブルまたはテレビのアンテナ線を接続する製品は、雷の発生時にはケーブルの接続をしないでください。



電話ケーブル、通信ケーブルまたはテレビのアンテナ線を接続する製品は、雷の発生時にはケーブルの取り外しはしないでください。

⚠ 危険

- 本モニターの電源を完全に切るためには、電源プラグをACコンセントから抜くことが必要です。コンセントはモニターの近くに設けてすぐ抜けるようにしてください。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。(必ずプラグを持って抜いてください。)
- 使用環境については、本ユーザーズ・ガイドの「導入」と「使用環境を快適にする」を参照してください。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- この機器の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。又、モニター周囲に物を置いたり、紙を貼ったりしないでください。
- モニターは重いので、取り扱いには注意してください。移動したり持ち上げるときは2人以上で背中を伸ばして身体のすぐそばに重みがかかるようにしてください。
- 長時間使わないときは、電源プラグをACコンセントから抜いておいてください。

目次

使用上のご注意	2
各部の名前とはたらき	3
接続と設定	4
手順1: コンピューターにつなぐ	4
手順2: 電源コードをつなぐ	4
手順3: 電源を入れる	4
調整する	5
メニュー操作のしかた	5
コントラストと明るさを調整する (ブライトネス/コントラスト)	7
画像の位置を調整する(サイズ調整/位置調整)	8
画像の大きさを調整する(サイズ調整/位置調整)	8
画像の位置と大きさを自動的に合わせる(オート)	8
画像の傾きや歪みを調整する(画歪調整)	9
コンバージェンスを調整する(コンバージェンス)	9
画質を調整する(画調整)	10
色温度を調整する(色温度調整)	10
その他の調整をする(オプション)	12
お買い上げ時の設定に戻す(リセット)	12
機能解説	13
本機の対応信号	13
省電力(パワーセービング)機能	13
故障かな?と思ったら	13
画面に細い横線が出たら(ダンパーワイヤー)	13
表示メッセージについて	13
本機の症状と対処のしかた	15
自己診断表示機能	17
主な仕様	17
サービスインフォメーション	18

JP

- ENERGY STAR®マークは、米国環境保護局の商標です。
- トリニトロン®はソニー株式会社の登録商標です。
- DDC™は、Video Electronics Standard Associationの商標です。
- VESAは、Video Electronics Standard Associationの商標です。
- この取扱説明書に記載されている上記以外の製品名は、それぞれの会社の商標または登録商標です。
- この取扱説明書では、「®」と「™」については一部表記を省略しています。

使用上のご注意

設置上のご注意

通風孔はふさがないでください

じゅうたんや毛布などの上や、カーテンの近くなど通風孔をふさぐおそれのある場所に設置しないでください。

設置場所について

次のような場所には置かないでください。

- じゅうたんや毛布などの上やカーテンの近くなど、通風孔をふさぐおそれのある場所
- 直射日光の当たるところや熱器具の近くなど、温度の高い場所
- 温度変化の激しい場所
- 振動の多い場所
- 不安定な台の上
- 高圧送電線や変圧器など、強い磁界を発生する機器の近く
- 鉄板など帯磁しやすい金属の上や近く
- ほこりや湿気の多い場所
- 密閉された場所
- 本機のまわりに通風のための隙間がない場所

お手入れのしかた

- CRT管面（画面）を拭くときは柔らかい布で軽く拭き、ガラスクリーナー使用時は決して帯電防止剤などの薬品入りのガラスクリーナーを使用しないでください。CRTの表面を傷めることがあります。
- ボールペンやドライバーなど、先の尖ったものでCRT管面（画面）をこすったり、触れたりしないでください。
- キャビネットやパネル面の汚れは、中性洗剤溶液を少し含ませた柔らかい布で拭いてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは、表面を傷めますので使わないでください。

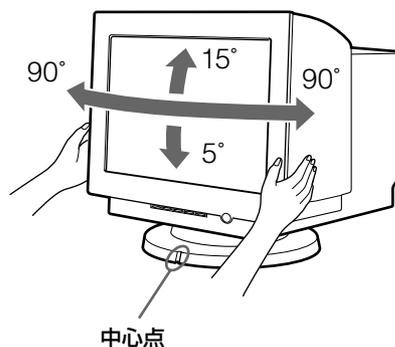
搬送についてのご注意

修理や引っ越しなどで本機を運ぶ場合は、本機用の箱とクッションを使用してください。

ディスプレイスタンドの使いかた

本機にはディスプレイスタンドがついているので、下図の範囲で向きを変えられます。本機の画面の中心をスタンドの中心点に合わせて、向きが変わる範囲を確認してください。

向きを変えるときは、下図のようにディスプレイ両側の下部を持ってください。本機を上向きにするときは、ディスプレイの後底部に指をはさまないようにご注意ください。



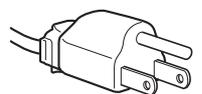
ご注意

ディスプレイスタンドを外さないでください。

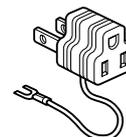
電源接続についてのご注意

- 付属の電源コードをお使いください。3芯の電源コンセントが近くになく、2芯の電源コンセントしか使えない場合には、付属のアダプターをお使いください。ただし、アースは電源コンセント用のアース端子に正しく接続してください。

プラグ形状例



AC100V用
付属電源コード



付属アダプター

- CRT管面に帯電した静電気を放電させるために、電源スイッチを切ったあと少なくとも30秒間放置し、その後電源コードを抜いてください。
- 本機は電源を入れると数秒間、画面が消磁されます。そのとき、周辺に強い磁界が発生しますので、磁気テープや磁気ディスクを本機の近くに置いておくと、データに異常が生じることがあります。磁気記憶装置やテープ、ディスクは本機から離してお使いください。

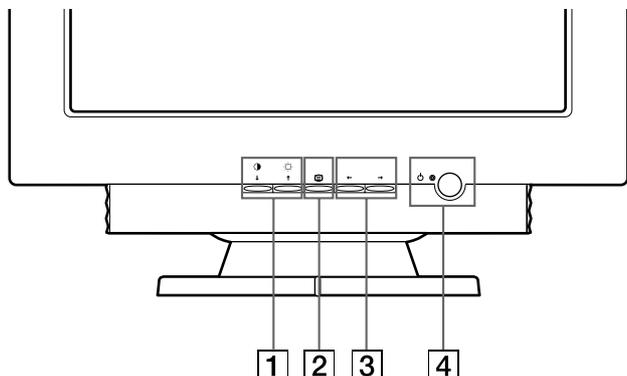
電源コンセントの近くに置き、何か異常が起こったとき、すぐに電源コードを抜けるようにしてください。

JP

各部の名前とはたらき

使いかたについてのくわしい説明は()内のページをご覧ください。

前面



① (コントラスト/下)と (ブライツネス/上) ボタン(5~12ページ)

ブライツネス/コントラスト画面を出すときに使います。
また、/ボタンとして、メニューを選ぶときに使います。

② ボタン(5~12ページ)

メニュー画面を出すときに使います。
また、メニューを選んだり、調整したりするときに、決定ボタンとして使います。

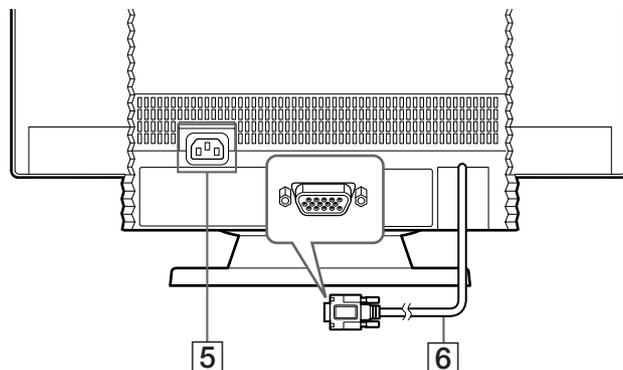
③ / ボタン(5~12ページ)

メニューを調整するときに使います。

④ (電源) ボタンとインジケーター(4、13、15、17ページ)

電源を入切します。
電源が入るとインジケーターが緑色に点灯します。
省電力状態のときは、オレンジ色に点灯します。

後面

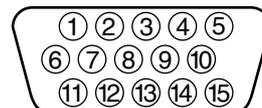


⑤ 電源入力端子(4ページ)

電源コードをつなぎます。

⑥ ビデオ入力端子 (HD15)(4ページ)

RGBの映像信号 (0.700 Vp-p、正極性) と同期信号を入力します。



ピン番号	信号名	ピン番号	信号名
1	R (赤)	9	DDC + 5V *
2	G (緑) (Sync on Green)	10	アース
3	B (青)	11	ID (アース)
4	ID (アース)	12	データライン (SDA) *
5	DDCアース *	13	水平同期
6	R (赤) アース	14	垂直同期
7	G (緑) アース	15	クロックライン (SCL) *
8	B (青) アース		

* VESAによるDisplay Data Channel (DDC) 規格

JP

接続と設定

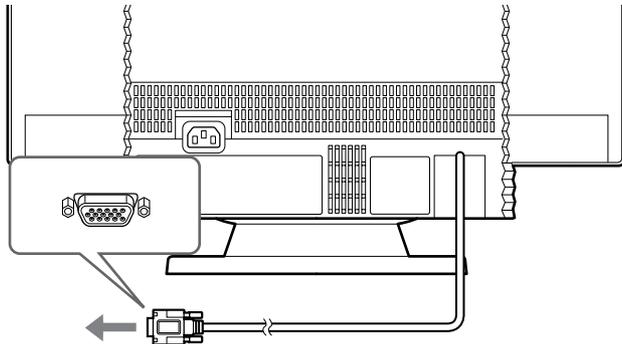
本機は、水平周波数30～107kHzのコンピューターに接続できます。詳しくは、お買い上げ店にご相談ください。

手順1：コンピューターにつなぐ

本機とコンピューターの電源を切った状態でつないでください。

ご注意

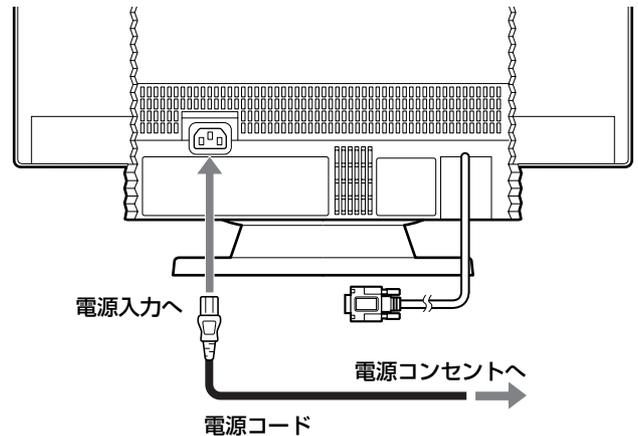
- ビデオ信号ケーブルのピンに、直接手を触れないでください。
- ビデオ信号ケーブルをつなぐときは、ビデオ入力端子の向きをご確認ください。向きが違くと、ビデオ信号ケーブルのピンが曲がってしまうことがあります。



HD15ビデオ出力のある
コンピューターへ

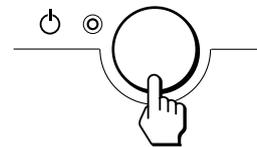
手順2：電源コードをつなぐ

本機とコンピューターの電源を切った状態でつないでください。本機に電源コードをつないでから、アースをとっている電源コンセントへ差し込みます。



手順3：電源を入れる

本機の電源を入れてから、コンピューターの電源を入れます。



これで、本機を使用できる状態になりました。必要に応じて、次ページからの設定や調整などを行ってください。

電源を入れても画面に画像が出ないときは

- 正しく接続されているか確認する。
- 「NO SIGNAL」と表示されている場合、コンピューターのグラフィックボードを正しいバススロットに差し込む。
- 「OUT OF SCAN RANGE」と表示されている場合、本機をつなぐ前につないでいたディスプレイがあるときは、それにつなぎ換えてみる。画像が出たら、コンピューターで水平周波数：30～107kHz、垂直周波数：48～170Hzの範囲に設定する。

くわしくは、「本機の症状と対処のしかた」(15ページ)をご覧ください。

JP

設置する場所

設置する場所

蛍光灯など、近くに電磁波を発している可能性のあるものがない適切な場所を選んで、本機を設置してください。

設置する台などが、本機の重さを支えることができることを確認してください。本機のまわりには、最低50mmの通風のための隙間を空けてください。

高さ

本機の前に座ったときに、目の高さより少し下に画面の上部がくるように本機を設置してください。

環境

窓や照明の反射が最も少ない場所を選んでください。どの窓からも直角になる位置が通常的位置です。身体をひねる必要がないように、お使いになる方の正面に本機を設置し、お使いになるときに快適な角度にディスプレイの向きを調整してください。

調整する

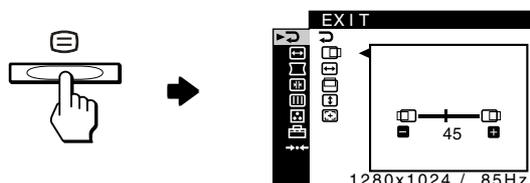
メニューを使って、いろいろな調整や設定ができます。

メニュー操作のしかた

■ ㊦と↓/↑、←/→ボタンの使いかた

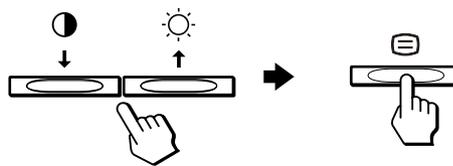
1 メニュー画面を出す。

㊦ボタンを押して、メニュー画面を出す。



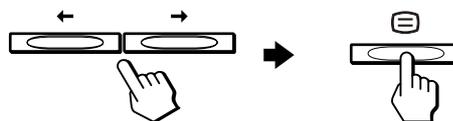
2 調整したいメニューや項目を選ぶ。

↓/↑ボタンを押して選び、㊦ボタンを押す。



3 調整する。

←/→ボタンを押して調整し、㊦ボタンを押す。

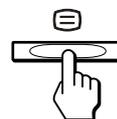


続けて他のメニュー画面で調整したいときは

↓/↑ボタンを押して↻を選び、㊦ボタンを押して現在の調整画面からぬける。

4 メニューを消す。

↻を選んで㊦ボタンを押すたびに、メニューが終了します。ボタンを押さなくても、約30秒後にメニューが自動的に消えます。



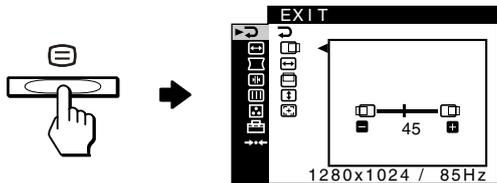
JP

[次のページへつづく](#)

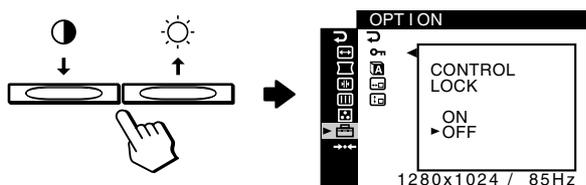
■ メニュー言語を変える(LANGUAGE)

メニューに表示する言語を、英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、イタリア語、オランダ語、スウェーデン語、ロシア語、日本語の中から選ぶことができます。

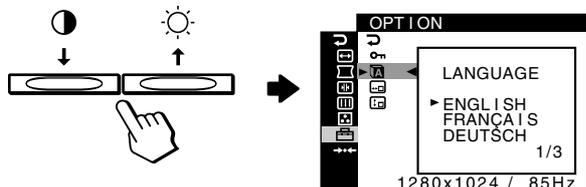
1 ③ボタンを押す。



2 ↓/↑ボタンを押して「④OPTION」を選び、③ボタンを押す。



3 ↓/↑ボタンを押して「⑤(LANGUAGE)」を選び、③ボタンを押す。



4 ↓/↑ボタンを押して言語を選び、③ボタンを押す。
↓/↑ボタンを押すたびに以下の言語が順番に3つずつ表示されます。

- ENGLISH：英語
- FRANÇAIS：フランス語
- DEUTSCH：ドイツ語
- ESPAÑOL：スペイン語
- ITALIANO：イタリア語
- NEDERLANDS：オランダ語
- SVENSKA：スウェーデン語
- РУССКИЙ：ロシア語
- 日本語

メニューを消すには

↓/↑ボタンを押して②を選ぶ。ボタンを押さなくても、約30秒後にメニューが自動的に消えます。

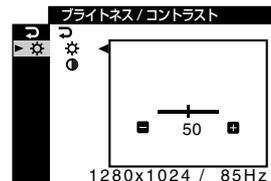
■ メニューの種類

② EXIT

メニュー画面を消します。

⑥ ブライツネス/コントラスト(7ページ)

画像の明るさやコントラストを調整します。メニュー画面が何も出ていないときに⑥↓または⑥↑ボタンを押すと、ブライツネス/コントラスト画面を直接呼び出すことができます。



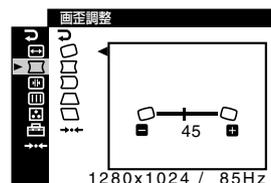
⑦ サイズ調整/位置調整(8ページ)

画像の大きさや位置の調整をします。



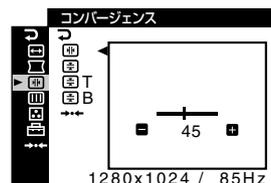
⑧ 画歪調整(9ページ)

画像の傾きや歪みを調整します。



⑨ コンバージェンス(9ページ)

コンバージェンス(色ずれ)を調整します。



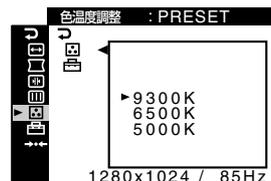
⑩ 画調整(10ページ)

以下の画質を調整します。
• 消磁(デガウス)
• 波模様や点状の模様(モアレキャンセル)



⑪ 色温度調整(10ページ)

色温度を調整します。画面の色を、印刷時の色に近づけたときなどに使います。



JP

次のページへつづく

☰ オプション(12ページ)
以下のオプション項目を設定します。

- 調整に使うボタンのロック(操作できないようにする)
- メニュー言語の切り換え
- メニューの表示位置

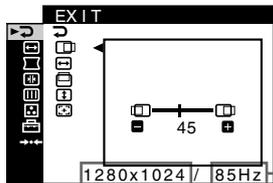


↔ リセット(12ページ)
調整値をお買い上げ時の設定に戻します。



現在入力中の信号の表示

☰ ボタンを押してメニュー画面を出すと、現在入力中の信号の解像度や周波数が表示されます。本機に設定されている表示モードの信号のときは、解像度と垂直周波数が表示されます(表示モードについては「表示モード一覧」(18ページ)をご覧ください)。設定されていない表示モードの信号のときは、水平周波数と垂直周波数が表示されます。



現在入力中の信号の垂直周波数

現在入力中の信号の解像度
または水平周波数

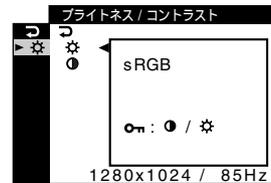
コントラストと明るさを調整する(ブライトネス/コントラスト)

この調整は、すべての入力信号に対して有効です。

- 1 ☀️ ↑ボタンを押してブライトネス画面を呼び出すかまたは、⬇️ ↓ボタンを押してコントラスト画面を呼び出す。
- 2 ⬅️ / ➡️ ボタンを押して☀️ (ブライトネス) または⊖ (コントラスト) を調整する。

色温度をsRGBモードに設定しているときは

「☰ 色温度調整」の「☰ 色温度調整MODE」でsRGBモードに設定しているときは、次のような画面が出ます。



この状態のときはコントラスト(⊖)も明るさ(☀️)も調整できません。調整したいときは「☰ 色温度調整」の「☰ 色温度調整MODE」でsRGB以外のモードを選び直してください。

sRGBモードについてくわしくは、「色温度を調整する(色温度調整)」(10ページ)をご覧ください。

画像の位置を調整する (サイズ調整/位置調整)

この調整は、現在入力中の信号に対して有効です。

- 1 戻るボタンを押す。
メニュー画面が出ます。
- 2 ↓/↑ボタンを押して「[] サイズ調整/位置調整」を選び、戻るボタンを押す。
サイズ調整/位置調整画面が出ます。
- 3 水平方向は、↓/↑ボタンを押して「[]」を選び、戻るボタンを押す。垂直方向は、↓/↑ボタンを押して「[]」を選び、戻るボタンを押す。
- 4 ←/→ボタンを押して「[]」または「[]」を調整する。

画像の大きさを調整する (サイズ調整/位置調整)

この調整は、現在入力中の信号に対して有効です。

- 1 戻るボタンを押す。
メニュー画面が出ます。
- 2 ↓/↑ボタンを押して「[] サイズ調整/位置調整」を選び、戻るボタンを押す。
サイズ調整/位置調整画面が出ます。
- 3 水平方向は、↓/↑ボタンを押して「[]」を選び、戻るボタンを押す。垂直方向は、↓/↑ボタンを押して「[]」を選び、戻るボタンを押す。
- 4 ←/→ボタンを押して「[]」または「[]」を調整する。

画像の位置と大きさを自動的に 合わせる(オート)

画像が画面のまん中に出なかったり小さいとき、自動的に画面のまん中に出すことができます。

- 1 戻るボタンを押す。
メニュー画面が出ます。
- 2 ↓/↑ボタンを押して「[] サイズ調整/位置調整」を選び、戻るボタンを押す。
サイズ調整/位置調整画面が出ます。
- 3 ↓/↑ボタンを押して「[] (オート)」を選び、戻るボタンを押す。
- 4 ↓/↑ボタンを押して「OK」を選ぶ。
画像が画面のまん中に出ます。



ご注意

- オート機能を働かせたくない場合は、上記の手順4で「キャンセル」を選んでください。
- この機能は、表示可能エリア全体に画像が表示される場合に正しく動作します。画面の一部にしか画像が表示されない場合や、背景が黒の場合には正しく動作しないことがあります。
- この機能が働いている間、数秒間画像が動きますが、故障ではありません。

JP

画像の傾きや歪みを調整する (画歪調整)

画像の傾きや歪みが気になるときは画歪調整で補正します。
□(傾き)の調整は、すべての入力信号に対して有効です。
その他は、現在入力中の信号に対して有効です。

- 1 ③ボタンを押す。
メニュー画面が出ます。
- 2 ↓/↑ボタンを押して「□画歪調整」を選び、③ボタンを押す。
画歪調整画面が出ます。
- 3 ↓/↑ボタンを押して調整したい項目を選び、③ボタンを押す。
- 4 ←/→ボタンを押して調整する。

項目	調整する内容
□	画像の傾き
□	画像側面のふくらみ/へこみ
□	画像側面のふくらみ/へこみの左右バランス
△	画像上部と下部の幅のずれ
□	画像上部の位置のずれ
↔	「画歪調整」で設定したすべての調整値をお買い上げ時の設定に戻す。「OK」を選びます。

リセット(↔)機能について詳しくは、「お買い上げ時の設定に戻す(リセット)」(12ページ)をご覧ください。

コンバージェンスを調整する (コンバージェンス)

文字や線のまわりに赤や青の線が見えるときなどには、コンバージェンスを調整します。
この調整は、すべての入力信号に対して有効です。

- 1 ③ボタンを押す。
メニュー画面が出ます。
- 2 ↓/↑ボタンを押して「※コンバージェンス」を選び、③ボタンを押す。
コンバージェンス画面が出ます。
- 3 ↓/↑ボタンを押して調整したい項目を選び、③ボタンを押す。
- 4 ←/→ボタンを押して調整する。

項目	調整する内容
※	水平方向の色ずれ
※	垂直方向の色ずれ
※ T TOP	画像上部の垂直方向の色ずれ
※ B BOTTOM	画像下部の垂直方向の色ずれ
↔	「コンバージェンス」で設定したすべての調整値をお買い上げ時の設定に戻します。「OK」を選びます。

リセット(↔)機能について詳しくは、「お買い上げ時の設定に戻す(リセット)」(12ページ)をご覧ください。

画質を調整する (画調整)

画面を消磁したり、モアレを調整することによって、画質をより鮮明にします。

- デガウス (消磁) : 画面を消磁します。
- モアレキャンセル : 波模様や点状の模様 (モアレ) を目立たなくします。

本機は、電源を入れると自動的に消磁します。消磁には約2秒かかります。続けて消磁するときは、20分以上間隔をあけてください。

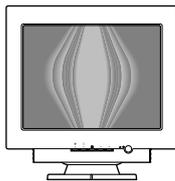
「モアレキャンセル」は、現在入力中の信号に対して有効です。

- 1 ③ボタンを押す。
メニュー画面が出ます。
- 2 ↓/↑ボタンを押して「画調整」を選び、③ボタンを押す。
画調整画面が出ます。
- 3 ↓/↑ボタンを押して調整したい項目を選び、③ボタンを押す。
- 4 ↓/↑ボタンまたは←/→ボタンを押して調整する。

項目	調整/選択する内容
ㄱ デガウス	画面を消磁します。手動で消磁するときは、「OK」を選びます。
 モアレキャンセル	モアレ*が最も目立たなくなるように調整します。

* モアレとは、画面に出るうすい波模様や点状の模様のことです。入力信号によっては、本機のブラウン管の蛍光体と干渉し合い、モアレが発生することがあります。故障ではありません。

モアレの例



ご注意

「モアレキャンセル」を働かせると、画像がくっきりしないことがあります。

色温度を調整する (色温度調整)

色温度は白色の度合いで表され、これを変えることによって画面の色を調整します。温度が低いと画面が赤みがかった白色になり、高いと青みがかった白色になります。画面の色を、印刷時の色に近づけたいときなどに使います。

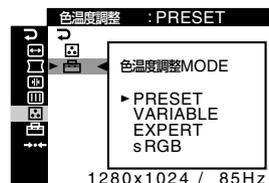
■色温度調整モードを選ぶ

本機には、PRESET、VARIABLE、EXPERT、sRGBの4つの色温度調整モードがあります。

お買い上げ時はPRESETモードになっており、9300K、6500K、5000Kの3種類の色温度を設定できます。

PRESETモード以外に変えたいときは、「 (色温度調整)」画面で好きなモードを選んでから、「 (色温度調整MODE)」で調整してください。

- 1 ③ボタンを押す。
メニュー画面が出ます。
- 2 ↓/↑ボタンを押して「色温度調整」を選び、③ボタンを押す。
色温度調整画面が出ます。
- 3 ↓/↑ボタンを押して、「 (色温度調整MODE)」を選び、③ボタンを押す。
- 4 ↓/↑ボタンを押して、色温度調整モードを選ぶ。



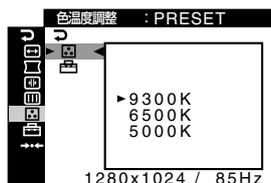
- 5 ③ボタンを3回押して、メニューを消す。

JP

[次のページへつづく](#)

■PRESETモード

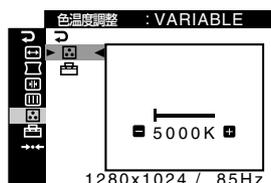
- 1 ③ボタンを押す。
メニュー画面が出ます。
- 2 ↓/↑ボタンを押して「色温度調整」を選び、③ボタンを押す。
色温度調整画面が出ます。
- 3 ↓/↑ボタンを押して、「色温度調整」を選び、③ボタンを押す。



- 4 ↓/↑ボタンを押して、色温度を選ぶ。
9300K、6500K、5000Kの3種類の色温度があらかじめ設定されています。お買い上げ時は9300Kになっています。9300K → 6500K → 5000Kとなるにつれて、青みがかった白色から赤みがかった白色へと画面の色が変わります。

■VARIABLEモード

- 1 ③ボタンを押す。
メニュー画面が出ます。
- 2 ↓/↑ボタンを押して「色温度調整」を選び、③ボタンを押す。
色温度調整画面が出ます。
- 3 ↓/↑ボタンを押して、「色温度調整」を選び、③ボタンを押す。



- 4 ←/→ボタンを押して、色温度を調整する。
5000Kから11000Kの間で微調整した値が、新しい色温度として設定されます。

■EXPERTモード

EXPERTモードを選ぶと、さらに細かい色温度調整をすることができます。

- 1 ③ボタンを押す。
メニュー画面が出ます。
- 2 ↓/↑ボタンを押して「色温度調整」を選び、③ボタンを押す。



- 3 ↓/↑ボタンを押して、R(Red : 赤)、G(Green : 緑)、B(Blue : 青)を選び、③ボタンを押す。←/→ボタンを押して、それぞれについてGAIN(●)とBIAS(⊙)を調整する。
EXPERTモードでの設定をリセットしたいときは、色温度調整画面で「リセット」を選びます。さらにリセット画面で「OK」を選んでください。

JP

■sRGBモード

sRGBとは、コンピューター機器同士の表示や、出力する色を近づけるためのカラースペースの業界標準のひとつです。sRGBモードを「色温度調整」メニューの「色(色温度調整MODE)」で選ぶだけで、簡単にsRGBプロファイルに設定することができます。
sRGBカラー(γ = 2.2、6500K)を画面に正しく表示するには、お使いのコンピューターをsRGBプロファイルに設定する必要があります。またsRGBモードを選ぶと、ブライトネス/コントラスト調整はできなくなります。



注意
コンピューター機器は、sRGBに対応している必要があります。

その他の調整をする (オプション)

調整値を変えられないようにしたり、メニュー言語を変えたり、メニューの表示位置を変えることができます。

- 1 ④ボタンを押す。
メニュー画面が出ます。
- 2 ↓/↑ボタンを押して「**色オプション**」を選び、④ボタンを押す。
オプション画面が出ます。
- 3 ↓/↑ボタンを押して調整したい項目を選ぶ。
各項目は以下のように調整します。

■調整値を変えられないようにする (コントロールロック機能)

調整値を他の人が勝手に変えないように、調整に使うボタンを操作できないようにします。

↓/↑ボタンを押して「**On**(コントロールロック)」を選び、④ボタンを押す。さらに↓/↑ボタンを押して「**オン**」を選ぶ。「**オン**」にしても、**⏻**(電源) ボタン、④ボタン、**↻**および「**色(オプション)**」の中の「**On**(コントロールロック)」は操作できます。これ以外の操作をすると、「**On**」マークが出て操作できません。

コントロールロック機能を解除するには上記の手順で「**オフ**」を選びます。

■メニュー言語を変える(LANGUAGE)

6ページをご覧ください。

■メニューの表示位置を変える(OSD位置)

メニュー画面に隠れた部分を調整したいときなどに、メニューの表示位置を変えられます。

↓/↑ボタンを押して「**OSD位置(水平方向の調整)**」または「**OSD位置(垂直方向の調整)**」を選び、④ボタンを押す。さらに**←/→**ボタンを押して、希望の位置を選ぶ。

お買い上げ時の設定に戻す (リセット)

いったん調整した設定を元に戻すには、次の2つの方法があります。

■入力中の信号の調整値をすべてリセットする

- 1 ④ボタンを押す。
メニュー画面が出ます。
- 2 ↓/↑ボタンを押して「**リセット**」を選び、④ボタンを押す。
- 3 ↓/↑ボタンを押して「**1(MODEリセット)**」を選び、④ボタンを押す。
- 4 ↓/↑ボタンを押して「**OK**」を選ぶ。



ただし以下の調整値は、この操作をしてもリセットされません。

- メニュー言語 (6ページ)
- 色温度調整モードの選択 (PRESET、VARIABLE、EXPERT、sRGB) (10ページ)
- PRESETモードで選んだ色温度 (9300K、6500K、5000K) (11ページ)
- メニューの表示位置 (12ページ)

■すべての調整値をリセットする

上記手順3で「**2(オールリセット)**」を選ぶ。

ご注意

コントロールロック機能(**On**)を「**オン**」にしているときは、リセットできません。

機能解説

本機の対応信号

本機では、入力信号に合わせて自動的に最適な画質で表示できるように、代表的な表示モードがお買い上げ時に設定されています（表示モードについては「表示モード一覧」（18ページ）をご覧ください）。

設定されている表示モード以外の入力信号に対しても、水平周波数30～107kHz、垂直周波数48～170Hzの範囲であれば、デジタルマルチスキャン機能で調整が行われるため、歪みのほとんどない画像を表示できます。画像を微調整する場合は、調整値が自動的にユーザーモードとして設定され、同じ信号が入力されるたびに同じ調整値が選ばれます。

Windowsでお使いのときは

本機の性能を十分に引き出すために、コンピューターやグラフィックボード付属のユーティリティプログラムを使って、最大のリフレッシュレート（垂直周波数）を選んでください。

省電力（パワーセービング）機能

本機は、VESAおよびENERGY STARのパワーセービングガイドラインに対応しています。コンピューターからの入力信号がなくなると、自動的に次のような省電力状態になります。

本機の状態	消費電力	⏻（電源） インジケーター
通常動作時	135W以下	緑点灯
アクティブオフ* (ディープスリープ)**	3W以下	オレンジ点灯
電源：切	約0W	消灯

* コンピューターが省電力状態になると、信号が入力されないため、アクティブオフ状態になる前に「NO SIGNAL」表示が出ます。そのあと、本機も省電力状態になります。

** 「ディープスリープ」は、EPA (Environmental Protection Agency) の定めた待機時の消費電力抑制状態です。

故障かな？と思ったら

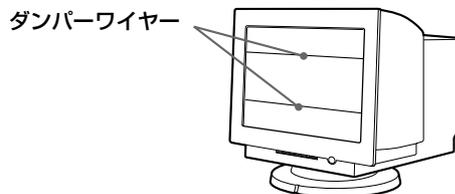
お買い上げ店などにご相談いただく前に、次の事項をご確認ください。

画面に細い横線が出たら (ダンパーワイヤー)

本機で使用しているトリニトロン管では、特に白色のような明るい背景のとき、画面に細い水平の線が見えますが、故障ではありません。

この線は、トリニトロン管内部のアパチャーグリルに取り付けられたダンパーワイヤーの影です。

ダンパーワイヤーはアパチャーグリルの振動を抑える働きをしています。アパチャーグリルはトリニトロン管特有の構造で、鮮明できめ細かな画質のために欠かせない役割を果たしています。



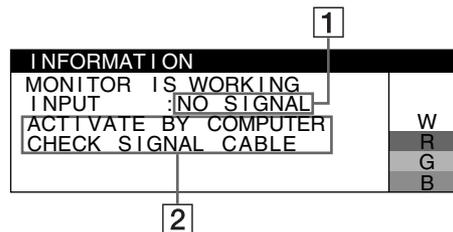
JP

表示メッセージについて

入力信号が正しくないときは、画面に次のような表示メッセージが出ます。

①に「NO SIGNAL」と表示されている場合

入力信号がない状態です。



② 対処のしかたを表示する

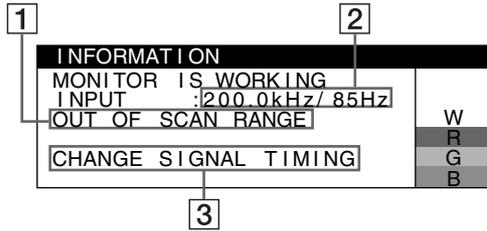
下記のメッセージが表示されます。

- 「ACTIVATE BY COMPUTER」と表示されている場合、コンピューターのキーボードのキーのどれかを押すか、マウスを動かしてみる。または、コンピューターのグラフィックボードを正しいバススロットに差し込む。
- 「CHECK SIGNAL CABLE」と表示されている場合、ビデオ信号ケーブルが正しく接続されているか確認する（4ページ）。

次のページへつづく

1 「OUT OF SCAN RANGE」と表示されている場合

入力信号の周波数が、本機の仕様に合っていない状態です。



2 入力信号の周波数を表示する

本機が入力信号の周波数を確認したときは、水平/垂直周波数も表示されます。

3 対処のしかたを表示する

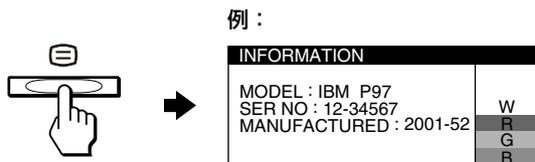
「CHANGE SIGNAL TIMING」と表示されます。本機をつなぐ前につないでいたディスプレイがあるときは、それにつなぎ換えてみる。画像が出たら、コンピューターで水平周波数：30～107kHz、垂直周波数：48～170Hzの範囲に設定する。

くわしくは、次ページの「本機の症状と対処のしかた」をご覧ください。

JP

本機の型名、製造番号、製造年と週を表示する

信号を入力しているときに、 ボタンを5秒以上押したままにする。INFORMATION画面が出ます。



故障のときは、お買い上げ店にご連絡ください。また、お問い合わせのときは次のことをお知らせください。

- 型名：IBM P97
- 製造番号
- 接続しているコンピューター、およびグラフィックボードの仕様と名称

本機の症状と対処のしかた

コンピューターなど本機に接続している機器が原因の場合は、接続機器の取扱説明書をご覧ください。
下記のように対処しても正常にならない場合は、「自己診断表示機能」をご覧ください(17ページ)。

こんなときは	原因と対処のしかた
--------	-----------

画像が出ない。

- | | |
|----------------------|--|
| ⦿(電源)インジケータが点灯していない。 | <ul style="list-style-type: none">● 電源コードを接続し直す。● ⦿(電源)ボタンを入れる。 |
|----------------------|--|

- | | |
|---|--|
| 「NO SIGNAL」という警告表示が出ている。または、⦿(電源)インジケータがオレンジ色に点灯。 | <ul style="list-style-type: none">● ビデオ信号ケーブルを正しくつなぐ(4ページ)。● ビデオ信号ケーブルのピンが曲がっている。まっすぐに直すか、別のケーブルを使う。 <p>■コンピューターなど本機につないでいる機器が原因の場合</p> |
|---|--|

- コンピューターが省電力状態になっている。キーボードのキーのどれかを押すか、マウスを動かしてみる。
- コンピューターの電源を入れる。
- コンピューターのグラフィックボードを正しいバススロットに差し込む。

「OUT OF SCAN RANGE」という警告表示が出ている。	■コンピューターなど本機につないでいる機器が原因の場合
----------------------------------	-----------------------------

- 入力信号の周波数が、本機の仕様に合っていない。本機をつなぐ前につないでいたディスプレイがあるときは、それにつなぎ換えてみる。画像が出たら、周波数を以下の範囲に設定する。
水平周波数：30～107kHz
垂直周波数：48～170Hz

- | | |
|------------------------------------|---------------------------|
| ⦿(電源)インジケータが緑色に点灯、またはオレンジ色で点滅している。 | ● 「自己診断表示機能」で確認する(17ページ)。 |
|------------------------------------|---------------------------|

画像が乱れる、ゆれる、ちらつく。

- 他のモニター、レーザープリンター、蛍光灯、テレビチューナー、扇風機など、磁界を発生して干渉する可能性のあるものから本機を離して置く。
- 近くに送電線がある場合は、本機を離して置くか、シールド板を本機の近くに置く。
- 離れたところにある他の電源につないでみる。
- モニターの向きを90度変えてみる。

■コンピューターなど本機につないでいる機器が原因の場合

- コンピューターのグラフィックボードで、本機が正しく設定されているかを確認する。
- 入力信号のグラフィックモードと周波数が、本機で使用できる範囲かを確認する(18ページ)。ただし本機で使用できる範囲でも、グラフィックボードによっては同期パルス幅が合わないため、きれいに画像を映せない場合があります。
- コンピューターのリフレッシュレート(垂直周波数)を、最適な画面になるように設定する。

画像がくっきりしていない。

- 明るさやコントラストを調整する(7ページ)。
- 画面を消磁する*(10ページ)。
- 「モアレキャンセル」が働いている場合、画像がくっきりしないことがあります。調整値を下げるか、または「モアレキャンセル」を「オフ」にする(10ページ)。

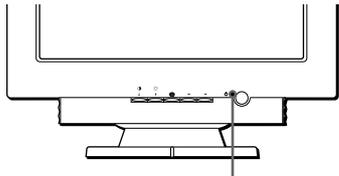
* 何度も消磁するときは、20分以上間隔をあけてください。また、消磁すると「ブーン」という音がしますが、故障ではありません。

こんなときは	原因と対処のしかた
画像が二重、三重になる。	<ul style="list-style-type: none"> ビデオ信号ケーブルの延長コードやインプットセレクターの使用をやめる。 接続ケーブルを端子にしっかりと差し込む。
画像の位置がずれている、または画像の大きさが正しくない。	<ul style="list-style-type: none"> サイズ調整/位置調整メニューの「オート」で「OK」を選ぶ(8ページ)。 画像の位置や大きさを調整する(8ページ)。入力信号やグラフィックボードによっては、画像が画面全体に広がらない場合があります。
画像の両端が曲がっている。	<ul style="list-style-type: none"> 画像の歪みを調整する(9ページ)。
画面に波模様や点状の模様(モアレ)が出る。	<ul style="list-style-type: none"> 「モアレキャンセル」でモアレが最も目立たなくなるように調整する(10ページ)。 ■コンピューターなど本機につないでいる機器が原因の場合 コンピューターでデスクトップパターンを変える。
色むらがある。	<ul style="list-style-type: none"> 画面を消磁する*(10ページ)。本機にスピーカーなどの磁気を発するものを近づけたり、電源を入れたまま向きを変えたりすると起こることがあります。
白色が白く見えない。	<ul style="list-style-type: none"> 色温度を調整する(10ページ)。
文字や線の端に赤や青の影が見える。	<ul style="list-style-type: none"> 「コンバージェンス」を調整する(9ページ)。
本機のボタンが働かない。 ( マークが画面に出る)	<ul style="list-style-type: none"> コントロールロック機能が「オン」になっている。「オフ」にする(12ページ)。
電源を入れた直後に「ブーン」という音がする。	<ul style="list-style-type: none"> 自動消磁機能が働いている。本機は電源を入れると、数秒間自動的に消磁します。

* 何度も消磁するときは、20分以上間隔をあけてください。また、消磁すると「ブーン」という音がしますが、故障ではありません。

自己診断表示機能

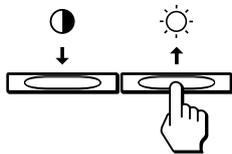
本機には自己診断表示機能がついています。本機またはコンピュータに異常が起きたときには、画像が消えて、 \odot (電源)インジケータが緑色に点灯するか、オレンジ色に点滅します。 \odot (電源)インジケータがオレンジ色に点灯しているときは、コンピュータが省電力状態になっています。キーボードのキーのどれかを押すか、マウスを動かしてみてください。



\odot (電源)インジケータ

■ \odot (電源)インジケータが緑色に点灯しているとき

- 1 ビデオ信号ケーブルを抜くか、接続しているコンピュータの電源を切る。
- 2 \odot (電源)ボタンを2回押して、本機の電源を入れ直す。
- 3 本機が省電力状態になる前に、 \uparrow ボタンを2秒間押す。



4本のカラーバー(白、赤、緑、青)が出れば、本機は正常な状態です。ビデオ信号ケーブルを接続し直して、コンピュータの状態を確認してください。

カラーバーが出ないときは、本機が故障している可能性があります。お買い上げ店にご相談ください。

■ \odot (電源)インジケータがオレンジ色に点滅しているとき

\odot (電源)ボタンを2回押して、本機の電源を入れ直す。 \odot (電源)インジケータが緑色に点灯すれば、本機は正常な状態です。

\odot (電源)インジケータが点滅したままのときは、本機が故障している可能性があります。 \odot (電源)インジケータが何秒おきにオレンジ色に点滅するかを数えて、お買い上げ店にご相談ください。お問い合わせのときは、本機の型名と製造番号、接続しているコンピュータとグラフィックボードの仕様および名称をお知らせください。

主な仕様

CRT	0.24mmアパチャーグリルピッチ 90°偏向 19インチ トリニオン
有効表示画面	約365.0×274.0mm(幅/高さ) 18インチ
解像度	
最大	水平：1600ドット 垂直：1200ライン
推奨	水平：1280ドット 垂直：1024ライン
入力信号レベル	ビデオ信号 アナログRGB：0.700Vp-p(正極性)、75Ω終端 同期信号 HVセパレート/コンポジット： TTLレベル、2kΩ終端、極性自由 Sync on Green：0.3Vp-p(負極性)
表示画面	4：3 約352×264mm(幅/高さ)
偏向周波数*	水平：30～107kHz 垂直：48～170Hz
入力電圧/電流	100～240V、50～60Hz、 2.0～1.0A
消費電力量	約135W
最大外形寸法	約462×483×469mm (幅/高さ/奥行き)
質量	約27kg
プラグ&プレイ機能	DDC2B/DDC2Bi、GTF(18ペー ジ)

* 推奨周波数タイミング

- 水平同期幅：水平周波数のタイミングの合計の4.8%以上、または0.67μsのどちらか大きい方
- 水平ブランキング幅：2.4μs以上
- 垂直ブランキング幅：400μs以上

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

JP

■ 表示モード一覧

モード	解像度 (ドット×ライン)	水平 周波数	垂直 周波数	グラフィック モード
1	640 × 480	31.5 kHz	60 Hz	VGA-G
2	640 × 480	43.3 kHz	85 Hz	VESA
3	720 × 400	31.5 kHz	70 Hz	VGAテキスト
4	720 × 400	37.9 kHz	85 Hz	VESA
5	800 × 600	37.9 kHz	60 Hz	VESA
6	800 × 600	46.9 kHz	75 Hz	VESA
7	800 × 600	53.7 kHz	85 Hz	VESA
8	1024 × 768	48.4 kHz	60 Hz	VESA
9	1024 × 768	56.5 kHz	70 Hz	VESA
10	1024 × 768	60.0 kHz	75 Hz	VESA
11	1024 × 768	68.7 kHz	85 Hz	VESA
12	1152 × 864	67.5 kHz	75 Hz	VESA
13	1152 × 864	77.5 kHz	85 Hz	VESA
14	1280 × 960	60.0 kHz	60 Hz	VESA
15	1280 × 960	85.9 kHz	85 Hz	VESA
16	1280 × 1024	64.0 kHz	60 Hz	VESA
17	1280 × 1024	80.0 kHz	75 Hz	VESA
18	1280 × 1024	91.1 kHz	85 Hz	VESA
19	1600 × 1200	75.0 kHz	60 Hz	VESA
20	1600 × 1200	81.3 kHz	65 Hz	VESA
21	1600 × 1200	87.5 kHz	70 Hz	VESA
22	1600 × 1200	93.8 kHz	75 Hz	VESA
23	1600 × 1200	106.3 kHz	85 Hz	VESA

上記の表示モード以外でも、入力信号がGTF (Generalized Timing Formula) 対応の信号であれば、GTF機能の働きで自動的に最適な画像が画面に表示されます。

サービスインフォメーション

下記の部品表は、IBMサービスまたはIBM特約店が、お客様へのサービスサポートのために使用します。

モニター

部品番号	型名	品名
22P7456	6651-T3N	P97 Monitor - NH(白)
22P7457	6651-U3N	P97 Monitor - NH(黒)
22P7458	6651-T3S	P97 Monitor - SH(白)
22P7459	6651-U3S	P97 Monitor - SH(黒)